

(様式 1) 実施報告書-プログラムB

団体名	大府市
-----	-----

1. 事業の種別	
該当の チェック	種別
	(1) 子ども向け日本語教育事業（対象外：プレクラス、日本語初期指導教室）
	(2) 多文化子育てサロン事業
	(3) 初期日本語教育事業（対象外：子ども向け日本語初期指導教室）
	(4) 地域の実態調査
	(5) 地域日本語教育の推進計画策定又は改訂
<input type="radio"/>	(6) その他
2. 事業の期間	令和2年4月1日から令和3年2月25日まで
3. 事業実施前の現状と課題	
<p>市内では、大府市国際交流協会、クリアンサの会及び地域多文化ネットWKYが日本語教室又はそれに準じた活動を行っている。指導はボランティアが担っているため、事業継続のために人材育成が求められている。</p>	
4. 事業の目的	
<p>日本語指導に関する研修を行うことで、日本語ボランティアのスキルアップを図るとともに、日本語ボランティア未経験者にも興味を持ってもらい、日本語指導に参加してもらうことで人材を確保し、外国人に対する日本語教育を推進する。</p>	

5. 実施結果
事業の詳細（種別(6)）
<p>【種別及び事業名称】 日本語ボランティアスキルアップ講座</p> <p>【実施箇所数】 1 か所</p> <p>【実施時間数】 計3時間</p> <p>【具体的な実施内容】</p> <p>1. 実施日時 第1回：令和3年1月17日（日） 13：00～14：30 第2回：令和3年1月31日（日） 13：00～14：30</p> <p>2. 実施場所 大府市役所会議室001～003</p> <p>3. 実施テーマ 第1回：オンラインやスマホを使った授業を考える 第2回：外国人に教える「文法」と「会話力」</p> <p>4. 講師 認定NPO法人プラス・エデュケート代表 森顕子氏</p> <p>5. 受講者 延33人（第1回：18人、第2回：15人）</p> <p>6. 受講者募集方法 広報おおぶ及び市ウェブサイトへの掲載、チラシ配布（大府市国際交流協会、クリアンサの会、地域多文化ネットWKY、大府市多文化共生推進委員会及び事業所）</p>
6. 効果
<p>（1）効果</p> <p>当初は2回とも文法についての講義内容を予定していたが、コロナ禍の日本語教室でオンライン指導が多く導入されていることを受け、第1回はテーマを「オンラインやスマホを使った授業を考える」とした。これまでZOOMを使ったことがない参加者からは、「ZOOMを初めて使った。」「どんなものか分かって良かった。」という意見が聞かれた。</p> <p>また、これを機に新しくボランティアを始めたいという参加者もあり、ボランティアの発掘にもつながった。</p>
7. 課題と今後の展望
<p>（1）課題と困難な状況への対応方法</p> <p>各団体がボランティアを募集する際の媒体には限りがある。今回のように市が主体となって事業を実施し、全戸配布する広報紙に募集記事を掲載することで、新たな人材発掘につながる。</p> <p>（2）今後の展望</p> <p>全2回の講座のため、効果は決して大きくないが、意義は感じられた。今後も継続して実施することが望ましい。</p>

【参考資料】講座案内チラシ、広報おおぶ記事、市ウェブサイト掲載記事、講座資料